

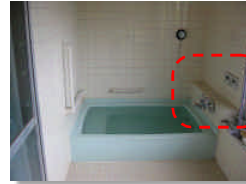
浴場の給湯設備を改修

更生保護事業振興財団助成金

に感謝



給湯器改修
追い焚きができます。



お風呂の機能UP
大型室外機です。電気温水器からガスによる追い焚きができるようになりました。



温水が出ます。
これからは冬の朝の洗面も冷たくありません。



地下水利用の電気温水器は水圧も低く、特に冬場になると湯量が不足しがちでした。しかも、風呂は追炊きができず、大変不便なものでした。この給湯器改修工事では、洗面場にもお湯が出るようにもなり、これまでの不便を解消できました。

更生保護事業振興財団の助成金に深く感謝致します。

ゆつたりとお風呂に

M・S (39歳)

「シャワー出すからお湯止めてくれる？」
浴室給湯の改修が入るまで入浴時に交わされていた会話。施設へ入所間もない私も、先輩の呼びかけに慌ててお湯を止めた。一度に二口からお湯を出すと水圧が下がるのである。

私達は自業自得からではあるが塀の中の生活を余儀なくされ、息抜きのはずの入浴も辛い時間だった。久々の社会での入浴、ゆつたり出来る時間：・が、給湯器の不具合でシャワーのお湯と同じく気持ちも温度が乱高下してしまうのだった。

昨今、様々な情報を提供する媒体や物流環境の発達から、私達はそれ程待たずに思いを実行する事が可能となった。反面、サービス提供側へ迅速さを求める傾向が強くなった。婦性会の入所者もその例外ではなかった。

さて施設の給湯設備改修が迅速に行われた結果、入浴前の清掃時間が短縮され、一度の入浴人数も増加した。工事のお陰で誰もがゆつたりし待たずに入浴を楽しめる様になった。

本当に有難く、心より感謝を申し上げたい。



役員の写真



千葉県婦性会 理事長
兒玉 重夫氏

今号の「役員の写真」では、前理事長であった橋本照稔先生の会長職就任に伴い、平成二十四年四月一日付けで理事長に就任されました兒玉重夫氏を紹介いたします。

兒玉氏は、室町時代に千葉宗胤により開基されたと伝えられる曹洞宗の名刹、本光山宗胤寺の住職であり、同時に曹洞宗宗議會議員(四期)をも就任されています。



そんな兒玉氏のお寺を訪ねると、なぜか駒澤大学の旗が？お聞きしたところ、なんと駒澤大学陸上競技部後援会会長として、部員達の後援にも尽力されているとか！

箱根駅伝では常に上位を走る駒澤大学。そこには後援会会長の力も大きいのかもしれません。次の駅伝では、駒澤大学の優勝を期待し、応援し
たくなりました。

そして、その様に多忙な中、当会の理事長として、陣頭指揮を執っていたいただいている兒玉氏なのです。



本光山宗胤寺